

日本技術士会原子力・放射線部会 平成 18 年度総会
議事録

1. 日時：平成 18 年 6 月 23 日（金）10：00～11：30
2. 場所：葺手第二ビル 5 階 日本技術士会 AB 会議室
3. 出席者：

[日本技術士会] 竹下専務理事（挨拶）

[部会員] 林（部会長） 浅野、栗原、桑江、佐川、櫻井、佐々木、辻、成川、青木、伊藤、
上坂、岡村、佐藤、白川、杉原、園田、徳山、浜崎、林、平川、山田、横堀、
若林、高橋、木内 （26 名）

[入会手続中] 千代

4. 配布資料

資料 - 1：原子力・放射線部会 平成 17 年度事業報告
資料 - 2：原子力・放射線部会 平成 18 年度事業計画
資料 - 3：原子力・放射線部会 平成 17 年度収支決算書
資料 - 4：原子力・放射線部会 平成 18 年度収支予算書

5. 議事：

竹下専務理事挨拶：原子力・放射線部門は平成 16 年度に設置され、部会も平成 17 年度に設立された。会員も 50 名を越したと聞いており喜ばしい。原子力・放射線部門の技術士数を増やすことが新しく出来た制度の活用を拡げることに関わると思う。

林 部会長挨拶：昨年 6 月 24 日に設立総会を開いてから 1 年経過した。特に制度活用力をいれて活動したがまだまだ力の足りなさを感じている。この間の部会活動について、および今年度の計画を詳しく報告させて戴くのでご審議をお願いしたい。また活動の巾が広がったので幹事に新しく入っていただく予定であり後程紹介させて戴く。

（以下規約に則り、部会長が議事を進行）

- （1） 総会成立確認（栗原幹事）

原子力・放射線部会の会員総数（正会員・準会員合計）89 名に対し出席者 61 名（委任 35 名含む）であり過半数を上回っていることから、本総会の成立が確認された。

- （2） 書記、議事録署名人選任

書記に桑江幹事、議事録署名人に浅野幹事が指名され、拍手を以って承認された。

- （3） 平成 17 年度事業報告および平成 18 年度事業計画（成川企画幹事）

資料 - 1、資料 - 2 およびスライドにより、部会の主要な活動である「制度活用策の具体化」、「必要な技術士数確保」、「活用策に応じた継続研鑽」、「広報」の各々について

て、平成 17 年度報告および平成 18 年度計画説明がなされた。

報告および説明の後、拍手を以って全会一致で承認された。

(4) 平成 17 年度決算報告および平成 18 年度予算計画（浅野会計幹事）

資料 - 3、資料 - 4 およびスライドにより、平成 17 年度決算報告および平成 18 年度予算説明がなされた。以下の質疑応答後、拍手を以って全会一致で承認された。

Q：技術士会からの「講演会・見学会補助費」は会員増加により増額されないのか？

A：補助費に関する技術士会規約では正会員 50 人以下 5 万円、100 人以下 8 万円、200 人以下 10 万円となっている。但し、支部には別途補助費が支払われていることから、支部所属の会員は上記会員数から除かれることになっている。

現在、原子力・放射線部会の会員数は 54 名であるが支部所属会員数を差し引くと 50 人を超えないため 5 万円の補助費となる。

(5) その他

佐川企画幹事より、部会例会での講演者を部会員から募っているのでは是非協力願いたいとの依頼があった。

6. 幹事紹介

部会長より現幹事および新幹事の紹介があり、新幹事から、幹事就任にあたっての抱負が一言ずつ述べられた。

以上

この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成 18 年 7 月 3 日

議事録署名人

浅野芳裕

